

(旧長岡市歌より)

蒼柴の森の緑濃く

—悠久山・東山フォーラム6年のあゆみ—



撮影：長岡大学写真部

長岡大学地域連携ブックレット刊行にあたって



平成 31 年 3 月

長岡大学長 村山 光博

長岡大学は平成 13(2001)年の開学以来、建学の精神に「幅広い職業人としての人づくりと実学実践教育の推進」と「地域社会に貢献し得る人材の育成」を掲げ、全学を挙げて大学改革に取り組んで参りました。また、平成 18(2006)年度以降は、文部科学省の大学教育改革補助事業に選定された次の各プログラムの事業計画に基づいて継続的に大学改革を推進し、「地域社会の発展に貢献する大学」を目指して地域を志向した教育・研究・社会貢献に取り組んでおります。

- 平成 18 ～ 20 年度 「産学融合型専門人材開発プログラム－長岡方式－」
(現代的教育ニーズ取組支援プログラム (現代 GP))
- 平成 19 ～ 21 年度 「学生による地域活性化提案プログラム」
(現代的教育ニーズ取組支援プログラム (現代 GP))
- 平成 19 ～ 21 年度 「長岡地域産業活性化のための MOT 教育『イノベーション人材養成プログラム』」 (社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム)
- 平成 21 ～ 23 年度 「学生の 3 つの就職力一体形成支援プログラム」(大学教育・学生支援推進事業【テーマ B】学生支援推進プログラム)
- 平成 25 ～ 29 年度 「長岡地域<創造人材>養成プログラム」
(地(知)の拠点整備事業=大学 COC(Center Of Community)事業)

平成 25(2013)年度から平成 29(2017)年度までの 5 ヶ年計画で取り組んできた大学 COC 事業は、大学が自治体等と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進めて地域コミュニティの中核的存在となり、地域コミュニティの再生・活性化の核=拠点となる大学へと、自ら改革することを支援する事業です。本学の「長岡地域<創造人材>養成プログラム」は、長岡市との連携の下で長岡地域の地域課題(産業活性化、社会課題解決、地域・コミュニティ活性化)と向き合い、課題解決・価値創造を担う専門的能力を身につけた学生・社会人=<創造人材>の養成を通して、それら 3 つの地域課題に応えることを目指して参りました。

なお、本学は平成 28(2016)年度から、政府の地方創生事業の一環である文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」(平成 28～31 年度)にも参加大学として加わっています。

本ブックレットでは、長岡大学が取り組む地域を志向した教育・研究・社会貢献の各事業の中から、とくにその成果を地域社会へ還元すべきものを取り上げて、広く発信いたします。長岡大学は、これからも「地域社会の発展に貢献する大学」を目指して全学を挙げて取り組んで参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

★<創造人材 (Creative Talents)>とは、一般には専門的職業従事者(科学者等)を指しますが、<創造人材>が経済社会の発展、競争力の源泉になっていることも明らかにされています。本プログラムでは、長岡大学が経済経営系の大学であるという性格から、課題解決・価値創造を担うマネジメント系専門人材、起業家、政策づくり専門人材、地域活性化・まちづくり専門人材、ボランティア・リーダーなどがいわゆる<創造人材>であると考えております。

はじめに

悠久山・東山フォーラムを振り返って



長岡大学教授 米山 宗久

少子高齢化・人口減少や住民交流の希薄化など、地域を形成する「人と人の関係」を見直すことで地域を活性化することが求められています。

長岡大学は、「幅広い職業人としての人づくりと実学実践教育の推進」と「地域社会に貢献し得る人材の育成」を建学の精神としております。さらに平成 25 年度に「知（地）の拠点整備事業（COC）」に採択され、「社会貢献」の取り組みを推進してきました。

長岡大学が立地している悠久山・東山地域は、歴史・産業・憩いの場として重要な位置を占めている。そこで、地域住民と長岡大学と一緒に悠久山・東山地域の魅力を発見し、発信する目的で第 1 回悠久山・東山フォーラムを開催しました。地域の魅力探しワークショップを開催して 5 つのテーマ（東山古道の復活、歴史と自然、まちづくり、長岡の郷土色、長岡大学と地元の交流）で活発な意見交換がされました。第 2 回は、ワークショップで出された課題をテーマに悠久山・東山地区を学生と住民が協働して調査、集計してマップを作成し報告することができました。またパネルディスカッションでは「地域の魅力をどう活かすか」について、地域住民から地域にあるモノを見つめ直すことが必要であると意見も聞かれました。3 種類のマップは地域住民に配布しました。第 3 回は、地域住民の交流、地域の資源活用に焦点を当て、「ひとりひとりができること」をパネリストと一緒に意見交換を行ないました。自分が住んでいる地域を知り、協力する意識を持ち、行動に移すこととの意見が聞かれました。また長岡大学に地域活性化センター的機能の期待があることもわかりました。第 4 回は、地域住民の方と一緒にできることを実際に体験しました。悠久山には、「悠久山房」という牧野家の別荘があったこと、牧野家所蔵のお雛さまを市内で展示されていることなど歴史を実感してもらうことを行いました。また若い世代が気軽に参加、交流できる空間として、ママやパパたちも楽しめるプラレールイベントも一緒に行いました。第 5 回は、本学写真部が住民の方と一緒に散策や調査を重ね、新たな視点で「悠久山いいところ取りマップ」を作成しました。また牧野家 17 代当主である牧野忠昌様から「牧野家と悠久山」の講演があり、新たな歴史の発見にもなりました。

第 6 回は、長岡の人材育成に焦点を当てました。長岡周辺地域の米百俵教育の歴史的变化遷を踏まえて、現在へと引き継がれていました。長岡市内には人材育成をけん引した教育者を多く輩出していることも地域住民に周知する必要性もあります。

全 6 回の悠久山・東山フォーラムは、地域の歴史に焦点を当て、地域住民と一緒に調査・検証・周知することで地域の魅力を再確認できたと思います。魅力を知ることによって人と人の関係やつながりの推進に貢献できたのではないかと感じました。さらに毎回多くの地域住民の方が参加していただいたことに感謝をしたいと思います。

今後は、これからも地域社会に貢献できる大学として、地域にある社会資源や人材、住民交流などに視点を当てて、取り組みを引き続き行っていくこととなります。

悠久山・東山フォーラムとは

長岡大学ができる、高齢化・人口減社会における地域活性化の推進として、まず、本学所在の悠久山・東山地区の活性化に向けた活動に取り組むという目的で、悠久山・東山フォーラムを開催することになりました。

I 第1回悠久山・東山フォーラム

市民の憩いの場である悠久山・東山地区の新たな魅力を、地元の方と長岡大学と一緒に長岡市に発信しようという趣旨のもと、平成26年3月15日、第1回「悠久山・東山フォーラム～みんなで悠久山・東山地区の魅力を語ろう～」を開催しました。

「悠久山・東山フォーラム～みんなで悠久山・東山地区の魅力を語ろう～」

日時：平成26年3月15日（土）13：30～17：10

会場：長岡大学地域交流ホール

開会挨拶	長岡大学学長	内藤 敏樹
趣旨説明	長岡大学事務局次長	品川 十英
現状報告	長岡市市長政策室政策企画課課長	渡辺 則道氏
基調講演	「歴史にみる悠久山と東山」	長岡大学教授 松本 和明
栖吉地区の魅力	「牧野忠辰公と十分杯」	元栖吉公民館長 中村 祥一氏
活動報告	「悠久山・東山地区マップづくり」	
		長岡大学教授 吉盛 一郎／吉盛ゼミ学生
意見交換会	*地域＜魅力＞探しワークショップ	

ワークショップでは、参加者約70名がグループに分かれ、それぞれ悠久山の魅力を探し、意見を出し合いました。

悠久山・東山地区の活性化に向け、地域住民の方々の参加を得て意見交換・交流ができたことは、フォーラムが第6回まで継続する、重要な最初の一歩となりました。

そしてこれが、次年度のマップ制作につながっていくことになりました。



栖吉の昔の写真



現状報告



基調講演



栖吉地区の魅力



活動報告



ワークショップ



悠久山・東山フォーラム

～みんなで悠久山・東山地区の魅力を語ろう～

市民の憩いの場である悠久山・東山地区の新たな魅力を、地元のみなさんと地元の長岡大学とで、長岡市民の方々に発信していきませんか。

日時 平成26年 **3月15日** 日
13:30～16:30

会場 **長岡大学
地域交流ホール**

次第

- ① 開 会 挨拶 長岡大学学長 内藤 敏樹
- ② 趣 旨 説 明 長岡大学事務局次長 品川 十英
- ③ 現 状 報 告 長岡市市長政策室政策企画課課長 渡辺 則道氏
- ④ 基 調 講 演 「歴史にみる悠久山と東山」 講師:長岡大学教授 松本 和明
- ⑤ 栖吉地区の魅力 「^{たどと}牧野忠辰公と十分盃」
講師:元栖吉公民館長 中村 祥一氏
- ⑥ 活 動 報 告 長岡大学教授 吉盛 一郎、吉盛ゼミ学生
～ 休憩 ～
- ⑦ 意 見 交 換 会 自由活発なご意見をいただきます。
- ⑧ これからに向けて 長岡大学副学長 原田 誠司



定員 **50名(先着順)**

※参加費無料

- 主催 長岡大学地域連携研究センター
- 後援 長岡市、長岡商工会議所

お申し込み方法 電話・FAXでお申込下さい。

FAXでのお申込の場合は、このチラシの下欄に記入し、下記のFAX番号に送信して下さい。

(お問合せ・お申込先)長岡大学地域連携研究センター:担当 山田、久保

FAX:0258-39-9566 TEL:0258-39-1600代

E-mail:chiken@nagaokauniv.ac.jp 〒940-0828 長岡市御山町80-8

氏 名		所 属 等	
住所・連絡先	〒		
電話番号		F A X	
E-mail			

※ご登録いただいた個人情報は、本学規定に従って厳正に管理します。

II 第2回悠久山・東山フォーラム

1 東山地区・悠久山公園、栖吉地区のマップ制作

平成26年度は、ヒアリング、バスツアーを実施し、第1回悠久山・東山フォーラムで地域の方と探した地域の魅力を、マップという形でみなさんに配布することができました。

■ヒアリング

マップ作成の基礎調査として、まず次のとおりヒアリングを実施しました。

7月15日、長岡大学資格取得支援センターにおいて、事象、思い出、史跡、自然、遊歩道などを白地図上に載せる(ポストイットを使って印をつけていく)作業を行いました。参加者は、地元住民の中村弘宣氏、水澤美德氏、桑原幸子氏、山田満智子、脇田妙子の合計5名です。参加していただいた方たちには、長岡大学東山MAP制作委員会として学生と一緒にマップを制作していただくことになりました。

■栖吉・東山バスツアー

栖吉～東山地区を、地元住民と一緒にバスでまわり、地区内の散策・調査を行いました。

- ・日 時：平成26年7月30日・31日の2日間 両日とも午前中
- ・1日目ー長岡大学学生16名、地域住民3名、教職員3名。悠久山・東山周辺をまわり、実際に歩いてみて、悠久山の成り立ち、石碑、植物等の話を聞き、歴史と自然の豊かさを体感しました。
- ・2日目ー長岡大学学生14名、地域住民4名、教職員4名。栖吉地区の商店街の位置・様子など確認し、地域の宝物をたくさん見つけることができました。



栖吉・東山地区バスツアー

■東山・悠久山地域マップの作成

地域の良さ・埋もれている宝物に対する認識を深めてもらうため、長岡市と連携して「東山・悠久山地域MAP」を作成しました。

★マップづくり

日 時：平成26年9月26日・10月25日 於・長岡大学多目的室、食堂

参加者：9/26ー地域住民3名・ゼミ生5名・教職員4名。

10/25ー地域住民6名・ゼミ生6名・教職員3名。

7月のバスツアーの成果をベースに、東山地区・悠久山公園・栖吉地区エリアの3つに分かれてマップづくりを行い、地域の皆さんにも参加していただき、地図に加えない所、自慢したい所、注意してほしい所などのご意見をいただきました。



マップ作り開始

2 第2回悠久山・東山フォーラムの開催

マップの完成報告をテーマに、第2回悠久山・東山フォーラムを開催しました。

第2回 悠久山・東山フォーラム「悠久山・東山マップの完成報告」

日時：平成27年3月7日（土）13:00～16:15

会場：長岡大学地域交流ホール

開会のご挨拶 長岡大学 学長 内藤 敏樹

ご挨拶 長岡市市長政策室政策企画課 課長 中村 英樹氏

悠久山・東山マップの完成について コーディネーター 脇田 妙子

基調講演 「令終会と地域資源の活かし方」

公益社団法人平成令終会・雪国植物園 園長 大原 久治氏

話題提供 「東山地域の花々」

長岡大学東山MAP制作委員会 水沢 美徳氏

活動報告「栖吉地域の高齢者の買い物動向」 長岡大学米山ゼミ学生

パネルディスカッション 「地区の魅力をどう活かすか」

<パネリスト>

長岡市市長政策室政策企画課 課長 中村 英樹氏

平成令終会・雪国植物園園長 大原 久治氏

長岡大学東山MAP制作委員会 水沢 美徳氏

同 古屋 信司氏

同 桑原 幸子氏

NPO 法人ながおか生活情報交流ネット理事長 桑原 眞二氏

長岡大学環境経済学科4年（米山ゼミ）酒井直也

<コーディネーター>

長岡大学地域コーディネーター 脇田 妙子

閉会のご挨拶 長岡大学 事務局長 品川 十英

参加者は、栖吉地区住民・長岡大学生ほか60名で、大変盛況でした。

当初の目標である栖吉・東山地区の調査とそれに基づく地域マップづくりを完遂することができました。マップ作りに積極的に参加していただいた住民の方々には、足元にあるモノを見つめ直す意義を感じていただけたようです。「住んでいても気づかなかった」という言葉が何度も聞かれ、いろいろと発見があったようです。これは地域住民といい意味

でのよそ者が一緒にひとつのものをみて、共に考えることで生み出されるものであり、この積み重ねが地域への愛着を醸成し、次世代へ継承していくと考えられます。

また、この経験をそれぞれの立場からの発表で、実際にマップ作りに参加しなかった住民と共有することで、住民として地域をみつめる視点を作り出しました。こうして制作されたマップが地域だけでなく全市的に配布され、当該地域の認知度が高まることを期待します。

今まで長岡大学が「地域」とつながる機会は少なかったと言えます。しかし今回、地域住民と学生が協働して事業を行うことで、長岡大学を身近に感じていただけたのではないかと思います。また前年度からの2回にわたるフォーラムは、長岡大学に足を踏み入れていただく機会になり、みなさんに、まちの駅長岡大学を利用していただくきっかけとなりました。



活動報告



基調講演



話題提供



パネルディスカッション



会場の様子

今回地域マップとして作成したものは、「栖吉おもひでMAP」、「悠久山おもひでMAP」、「東山自然体験マップ」の3つのマップです。これらのマップは、長岡大学東山MAP制作委員会が調査したものを基本に制作されました。

作成部数は、「栖吉おもひでMAP」5,000部、「悠久山おもひでMAP」10,000部。他に、「東山自然体験マップ」（長岡造形大生がデザイン）10,000部です。

「栖吉おもひでMAP」は、暮らしを中心にマッピングを行ったことで、栖吉についての話題が家庭内で行われると考えられます。「悠久山おもひでMAP」は観光用としても使

用可能であるものの、既存の観光MAPとは一線を画し、多方向から悠久山をより深く楽しむものとなっています。「栖吉おもひでMAP」と「悠久山おもひでMAP」は地域町内会・コミュニティセンターにお願いして全戸配布（各2,500部程度）を行うとともに、小中学校や市民諸施設・観光施設等に幅広く配布しました。

「東山自然体験マップ」については、これまで東山の全域を網羅したマップが存在しなかったため、子どもたちに親しみやすい絵柄で「行きたくなる」ものを作りました。これは長岡市が中心になって、東山地域にある既存施設、市内全域の小中学校・公共施設に配布しました。





学生が栖吉地区の方々と一緒に悠久山・東山を回りマップを作成しました。

日時 平成27年**3月7日**
13:00~16:30

会場 長岡大学 地域交流ホール

定員 **50名**
(先着順)

**参加費
無料**



■主催 長岡大学地域連携研究センター

■後援 長岡市、長岡商工会議所

お申し込み方法

電話・FAXでお申込下さい。

(お問合せ・お申込先)

長岡大学地域連携研究センター:担当 山田

〒940-0828 長岡市御山町80-8

TEL:0258-39-1600(代) FAX:0258-39-9566

E-mail:chiken@nagaokauniv.ac.jp

次 第

進行……………長岡大学准教授 米山 宗久

●開会のご挨拶……………長岡大学長 内藤 敏樹

●ご挨拶……………長岡市市長政策室政策企画課課長 中村 英樹氏

●悠久山・東山マップの完成について

……………コーディネーター 脇田 妙子

第1部

●基調講演 「令終会と地域資源の活かし方」

……………公益社団法人平成令終会 雪国植物園園長 大原 久治氏

●話題提供 「東山地域の花々」

……………長岡大学東山MAP制作委員会 水沢 美徳氏

●活動報告 「栖吉地域の高齢者の買い物動向」

……………長岡大学米山ゼミ学生

第2部

●パネルディスカッション 「地区の魅力をどう活かすか」

……………<パネリスト> 長岡市市長政策室政策企画課課長 中村 英樹氏

……………公益社団法人平成令終会雪国植物園園長 大原 久治氏

……………長岡大学東山MAP制作委員会 水沢 美徳氏

……………同 古屋 信司氏

……………同 桑原 幸子氏

……………神谷区長 白井 湛氏

……………長岡大学環境経済学科4年 酒井 直也

(米山ゼミ)

……………<コーディネーター>

コーディネーター 脇田 妙子

●閉会のご挨拶……………長岡大学事務局長 品川 十英

Ⅲ 第3回悠久山・東山フォーラムの開催

平成 27 年度は、地域の方たちがどんな交流をしているか、どのように地域の資源を活かしているか、3つの地区の方から実践例を紹介していただく、“ひとりひとりができること”をテーマに、第3回悠久山・東山地区フォーラムを開催しました。

第3回悠久山・東山フォーラム“ひとりひとりができること”

日 時：平成 28 年 3 月 5 日（土）13：30～16：30

会 場：長岡大学地域交流ホール・学生食堂

開会あいさつ

第1部 事例発表

「悠久山の歴史を活かすこと」 栖吉地区 古屋 信司氏

「子どもに伝える山通の魅力」 山通地区 川上 洋一氏

「赤城コマランドがなぜできたか」 四郎丸地区 山川 成雄氏

第2部 パネルディスカッションと意見交換「ひとりひとりができること」

<パネリスト>

栖吉地区 古屋 信司氏

山通地区 川上 洋一氏

四郎丸地区 山川 成雄氏

<コーディネーター>

長岡大学准教授 米山 宗久

ボランティアガイドとして市内外の来訪者に悠久山を案内している古屋氏、父子遊学塾で子どもたちと関わっている川上氏、赤城コマランドを運営している山川氏の体験談に、会場からの質問も多く、活性化の方向について、活発な議論が交わされました。

この活発な意見や議論がそのままアンケートに反映され、アンケートには様々な感想や意見が寄せられました。参加者は、地域住民の方々を中心に、約 50 名でした。



事例発表



パネルディスカッション



会場の様子

◆アンケート結果

事例発表は「非常に参考になった」69.0%、「まあまあ参考になった」27.6%、パネルディスカッションは「非常に参考になった」55.2%、「まあまあ参考になった」41.4%、今回のフォーラムは「非常によかった」58.6%、「まあまあよかった」41.4%でした。

★地域の活性化に役に立つと思われる意見、提案

- ・高齢化社会、子供の数が減っていることもあり、近所の人との関わりが減ってきている。声かけや見守りが大事。顔見知りが増えるように考えていけたら良い。
- ・山通り地区の父親の参加が羨ましい。当町内では父親を引きずり出すことに苦慮している。打開策のヒントになったかな。
- ・協力する精神を育てるには、大人が模範を示していく。
- ・一人ひとりがよく考えて行動していくことが大切。
- ・とても良い発表があるので、多数の人に参加してもらう手段が必要では。
- ・どれも興味深い内容だった。長岡大学が地域活性化センター的機能を発揮していくことに期待する。
- ・資料の「思ひ出マップ」に、三島億二郎の石碑が入っていなかった。残念だ。
- ・地域を活性化するアイディアはあってもリーダーがいない。そんな地域が多いのではないか。リーダーは重要。
- ・まず、自分が住んでいる地域を知ることは良い。地域マップは良いと思う。
- ・悠久山、東山地域にはさまざまな歴史的宝物が多くある。それらを線で結び、フィールドミュージアムの活用が大切。

★次回のフォーラムでとりあげたらよいと思うテーマ

- ・悠久山の石碑にある人物について詳しく教えて欲しい。
- ・東山には、こんなことをやっている人がいる。
- ・地域内のコミュニケーションのあり方。
- ・栖吉風景や生活風景、湧水百選など。
- ・自分たちの地域を子供たちに伝えるための若者と子供のフォーラム学習会。
- ・「人の役に立つ」ことについて。
- ・地域のために関わっている学生の発表が聞きたい。発表会ほどでなくて良い。
- ・歴史ある長岡、開府400年を迎えるにあたって長岡を振り返る。

※平成29年度は、本学写真部が新たに「悠久山いいとこ撮りまっぷ」を作成しました。この中には、ご指摘のあった「三島億二郎」の石碑も登場しています。

また、第5回悠久山・東山フォーラムは、長岡開府400年、令終会が悠久山を造って100年という内容も盛り込んで開催しました。(後述)

第3回悠久山・東山フォーラムを開催します。

平成25年度第1回目のフォーラムでは、みなさんと悠久山・東山の魅力を再発見し、第2回目のフォーラムでは、地域の方たちと作成した悠久山・東山のマップを基に地域の魅力をどう活かすかディスカッションしました。

今回のフォーラムでは、地域の方たちがどんな交流をしているか、どのように地域の資源を活かしているか、3つの地区の方から実践例を紹介していただきます。

「ひとりひとりができること」を一緒に考えてみませんか。

日時 平成28年 **3月5日(土)**
13:30~16:30

会場 **長岡大学 地域交流ホール**

定員 **50名**



【第1部 事例発表】

栖吉地区 古屋 信司 氏 「悠久山の歴史を活かすこと」
山通地区 川上 洋一 氏 「子どもに伝える山通の魅力」
四郎丸地区 山川 成雄 氏 「赤城コマンドがなぜできたか」

【第2部 パネルディスカッションと意見交換】

「ひとりひとりができること」

栖吉地区 古屋 信司 氏
山通地区 川上 洋一 氏
四郎丸地区 山川 成雄 氏
コーディネーター 長岡大学准教授 米山 宗久
司会・進行 長岡大学事務局長 品川 十英



■主催：長岡大学地域連携研究センター ■後援：長岡市

第3回悠久山・東山フォーラム
「ひとりひとりができること」

参加費
無料

〈お申込方法〉

電話・FAXでお申込下さい。FAXでのお申込の場合は、このチラシの下欄に記入し、下記のFAX番号に送信してください。

〈お問合せ・お申込先〉

長岡大学地域連携研究センター 担当：山田
TEL:0258-39-1600(代) FAX:0258-39-9566
〒940-0828 長岡市御山町80-8
URL:<http://www.nagaokauniv.ac.jp>
申込締切:3月2日(水)。当日参加も歓迎です。

氏名			所属・会社等	
住所・連絡先	〒			
電話番号		FAX		

※ご登録いただいた個人情報は、本学規定に従って厳正に管理します。

IV 第4回悠久山・東山フォーラム

平成28年度は、地域のみなさんと一緒にできること、みなさんに参加していただけるものとして、「お雛さまとお茶会」をテーマに、第4回悠久山・東山フォーラムを開催しました。

第4回悠久山・東山フォーラム「お雛さまとお茶会ー日本の伝統を受け継ぐー」

日時：平成29年2月25日（土）13：00～16：00

会場：長岡大学217教室、3階学生ホール

開会のごあいさつ	長岡大学学長	村山 光博
長岡市ごあいさつ	長岡市地方創生推進部政策企画課課長	佐藤 実 氏
講演	「内裏様はどっち？」	長岡大学教授 小川 幸代
雛茶会	長岡大学茶道部（指導 今井 憲子氏）	

旧長岡藩主牧野家第17代当主牧野忠昌様ご一家をお迎えし、本学教授 小川幸代による講演「内裏様はどっち？」と雛茶会を開催しました。

講演では、会場のみなさんに、しばし雅な時間をお過ごし頂きました。

悠久山には、「悠久山房」という牧野家の別荘がありましたが長岡空襲で全焼し、今はその面影を見ることができません。「悠久山房」はありませんが、日本の伝統文化にふれていただきたく、講演会に引き続き、雛茶会を開催し、ひな飾りをお楽しみいただきました。こちらでも、優雅なひとときを味わっていただきました。講演、雛茶会の参加者は約60名でした。

同じく学生ホールでは本学写真部による地域の写真を展示し、こちらも好評でした。この写真展示が好評であったことが、次年度の悠久山のまっぷ作りに繋がっていきました。

また、若い世代の方たちが気軽に参加、交流できるものとして、「プラレール」を行いました。こちらは約100人の親子が参加され、非常に賑やかでした。



講演会「内裏様はどっち？」



雛茶会



雛飾り



写真展示



プラレール

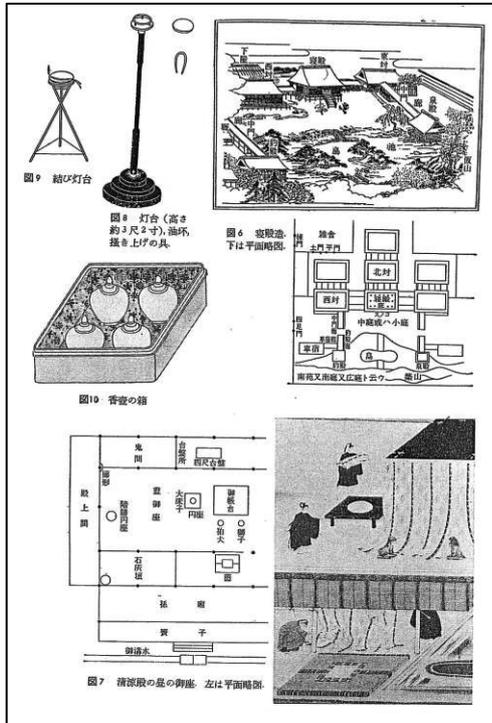
長岡大学 第4回 悠久山・東山フォーラム「お雛さまとお茶会」平成29年2月25日(土)

講演 「内裏様はどっち？」

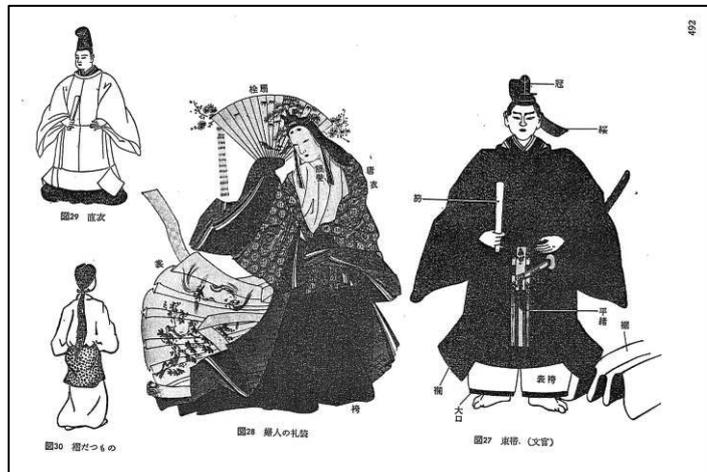
長岡大学教授 小川幸代

はじめに 本日和室のお雛さま

- 1 内裏(だいら)とは
- 2 立雛(たちびな)と坐雛(すわりびな) 人形(ひとがた)
- 3 三井家の立雛 文化12年(1815) 男雛:高48.0 女雛:高32.0
松 藤 撫子
- 近衛家(陽明文庫)の立雛(芥子雛)
男雛:高4.9 女雛:高4.1 通常高さ15~30が主流
老松(おいまつ) 能「高砂(たかさご)」をモチーフとした尉(じょう)と姥(うば)
- 4 有職雛(ゆうそくびな) 有職故実(宮廷貴族の装束付の決まり) 高倉雛 山科雛
- 5 内裏雛 享保雛
- 6 五人囃子:謡・笛・小鼓・大鼓・太鼓 武家の式学である能楽の地謡と囃子を模した
五人楽人:鞆鼓(かっこ)・太鼓・笙(しょう)・箏(ひちりき)・笛 雅楽姿
- 7 隨身(ずいじん) 左大臣 右大臣
- 8 左近の桜 右近の橘



講演会
「内裏様はどっち？」の資料



◆アンケート結果

講演は「非常に楽しかった」75.8%、「まあまあ楽しかった」12.1%、雛茶会は「非常に楽しかった」84.8%、「まあまあ楽しかった」9.1%、今回のフォーラムは「非常に評価できる」72.7%、「まあまあ評価できる」12.1%、でした。

また、このフォーラムの情報源は「市政だより」21.2%、「図書館、コミセンなど」18.2%、「ダイレクトメール」15.2%、「ポスター」12.1%、「その他」33.3%でした。

★地域の活性化に役に立つと思われる意見、提案、感想など

- ・ひなまつり茶会とお話は来年も期待している。
- ・さいわいプラザの牧野家のひな人形を見てこの講演に参加した。牧野様にもお会いできてよかった。今日、おひなさまがテーマという事で楽しかった。
- ・初めて参加したが、講義は大変有意義だった。お茶もたいへん美味しかった。
- ・解放された大学は素晴らしい。これからも寄せていただく。
- ・長岡に住んでいても知らないことばかりだった。また大学の講座に参加したい。
- ・お茶会で知らない人ともお話ができて、みんなが集えるので充分楽しむことができた。
- ・来年は開府400年とのことなので、その関連のフォーラムを期待する。
- ・地域の大学として地元住民と共に活動して欲しい。文化情報の発信源として、開かれた大学を期待する。

第4回 悠久山・東山フォーラムアンケート 2017.2.25 (土)

長岡大学 地域連携研究センター

* 本日は、第4回悠久山・東山フォーラムにご参加いただきありがとうございます。
今後のフォーラム開催の参考にさせていただきたく、アンケートにご協力をお願いいたします。

性別	1 男	2 女	年齢	1. 22歳未満	2. 22~30歳
				3. 30歳代	4. 40歳代
				5. 50歳代	6. 60歳代以上

1 講演「お内裏様はどっち？」は楽しかったでしょうか。1つ〇をつけてください。

1 非常に楽しかった	2 まあまあ楽しかった	3 あまり楽しくなかった
4 楽しくなかった	5 その他 ()	

2 「お茶会」は楽しかったですか。1つ〇をつけてください。

1 非常に楽しかった	2 まあまあ楽しかった	3 あまり楽しくなかった
4 楽しくなかった	5 その他 ()	

3 今回のフォーラムは全体としてどんな評価ができますか。1つ〇をつけてください。

1 非常によかった	2 まあまあよかった	3 あまり評価できない
4 評価できない	5 その他 ()	

4 このフォーラムの開催については、どの情報からお申し込みいただきましたか。

1 ダイレクトメール	2 図書館、コミュニティセンターなどのチラシ
3 市政だより	4 ポスター
5 その他 ()	

5 地域の活性化に役立つと思われるご意見、ご提案、今後のフォーラムのテーマの希望などを具体的に記入ください。今後の活動の参考にさせていただきます。

*ありがとうございました。会場出口で係員にお渡しください。



長岡大学では、平成25年度から悠久山・東山フォーラムを開催しております。今年度は、地域の皆様と一緒にできることとして、「お雛さまとお茶会」を楽しむフォーラムを企画いたしました。

普段着でもお着物でも、お気軽にご参加ください。

なお、このフォーラムは、長岡大学「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」として行うものです。

日時 平成29年 **2月25日** 土
13:00～16:00

会場 **長岡大学** 参加費 **無料**

【講演】 13:00～14:00 217教室
「内裏様はどっち？」 長岡大学教授 小川 幸代

【雛茶会】 14:00～16:00 3階学生ホール
長岡大学茶道部 (茶席券300円、親子券500円)

※定員 100名(先着順) ※お申し込み方法は下記のとおり
◆長岡大学写真部による写真展示も行います。13:00～16:00(無料)あ

主催/長岡大学地域連携研究センター
共催/長岡市

<お申込方法・お問合せ先> 電話、mail、FAXでお申込下さい。
FAXの場合はこのチラシの下欄に記入し、下記FAX番号に送信してください。
〒940-0827 長岡市御山町80-8 長岡大学地域連携研究センター 担当:山田、小田原
TEL:0258-39-1600(代) e-mail:chiken@nagaokauniv.ac.jp
<申込締切> 2月22日※ です。当日参加も歓迎です。

日本の伝統文化を受け継ぐ

お茶会

第4回 悠久山・東山フォーラム
「お雛さまと

FAX:0258-39-9566 参加されるものに○をお付けください。

代表者氏名		参加申込	1.講演(人) 2.雛茶会(人)
住所・連絡先	〒		
電話番号	FAX		

※ご登録いただいた個人情報は、本学規定に従って厳正に管理します。

裏面もご覧下さい。

第4回 悠久山・東山フォーラム

プラレールで、

ママ友、パパ友

を作ろう!

平成28年度長岡大学悠久祭では、2日間とも大盛況でした。★
第4回悠久山・東山フォーラムでは、子供たちはもちろん、ママや
パパたちも楽しめるプラレール空間を企画いたしました。
奮ってご参加ください。
なお、このフォーラムは、長岡大学「地(知)の拠点大学による地
方創生推進事業(COC+)」として行うものです。



日時 平成29年 2月25日(土)
13:00～16:00

会場 長岡大学 3階多目的室
申し込み不要 無料

長岡大学写真部による
写真展示も行います。
13:00～16:00(無料)

主催/長岡大学地域連携研究センター
共催/長岡市

<お申込方法・お問合せ先>
〒940-0827 長岡市御山町80-8
長岡大学地域連携研究センター 担当:小田原、山田
TEL:0258-39-1600代



写真:平成28年度 悠久祭にて

裏面もご覧下さい。

V 第5回悠久山・東山フォーラム

1 「悠久山いいところ撮りまっぷ」制作

平成29年度は、長岡開府400年、悠久山公園開設100年という節目の年に当たりました。そこで、本学写真部が、ガイドの方との散策や単独の実施調査を重ね、「悠久山いいところ撮りまっぷ」石碑編・景観編を制作しました。

石碑編は、散策やヒアリングで得た情報、参考文献の記録を元に掲載文をまとめ、制作委員の方に内容を確認していただきながら作っていきました。景観編は、制作委員の方にご協力いただき、掲載写真の現像、選定、配置作業を進め、石碑編、景観編ともに地域の方との連携で制作しました。10月の悠久祭では制作途中のまっぷの他に写真も展示し、みなさんからご意見等をいただきました。



制作委員と現地調査



悠久祭

制作委員と確認作業

2 第5回悠久山・東山フォーラム

平成29年度のテーマは「悠久山の見どころ撮りどころー“お山”あんなところ、こんなところ」とし、本学写真部が作成した「悠久山いいところ撮りまっぷ」のお披露目も兼ねて、長岡藩主牧野家第17代当主牧野忠昌氏による講演、平成令終会雪国植物園園長 大原久治氏と本学教授 松本和明による対談を行いました。

第5回 悠久山・東山フォーラム

「悠久山の見どころ、撮りどころー“お山”あんなところ、こんなところ」

日時：平成30年2月24日（土）13：30～16：00

会場：長岡大学地域交流ホール、学生食堂

開会のごあいさつ

「悠久山いいところ撮りまっぷ」お披露目

長岡大学学長 村山 光博

長岡大学写真部

まっぷ制作委員会

聞き手 長岡大学教授 米山 宗久

講演 「牧野家と悠久山」

牧野家 17 代当主 牧野 忠昌氏

対談 「令終会と悠久山」

公益社団法人平成令終会雪国植物園園長 大原 久治氏

長岡大学教授 松本 和明

閉会のごあいさつ

長岡大学教授 高橋 治道

まっぷのお披露目では、本学米山教授のリードで、撮影の苦労話や写真に隠された秘密、あまり知られていなかった“お山”のあんなとここんなところが明らかになり、会場の笑いや驚きを誘っていました。

まっぷ制作委員の古屋信司氏、桑原幸子氏には、写真部の活動、まっぷ作りの経緯などについて述べていただきました。

講演では、開府 400 年にまつわる牧野家と長岡、牧野家と悠久山、蒼柴神社の関わりなどをお聞きし、また珍しい写真なども見せていただきました。

対談では、令終会の思想、大原氏が雪国植物園を造り、平成令終会を組織された経緯、これからの長岡のあるべき姿などについてお話いただきました。

また、写真部が撮影した悠久山の写真を展示し、こちらも大変好評でした。

参加人数は 130 名と、悠久山・東山フォーラムが始まって以来の大人数でした。



参加者の様子



まっぷのお披露目：長岡大学写真部



まっぷのお披露目：制作委員



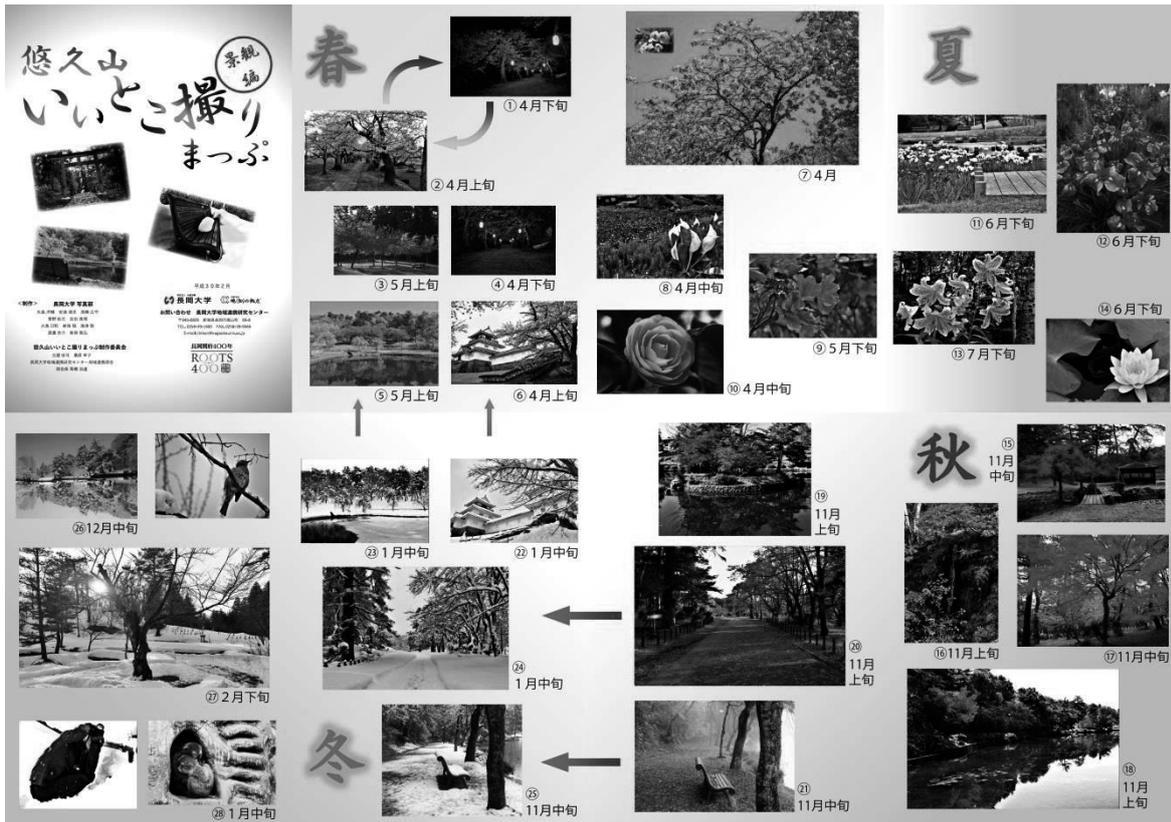
講演：牧野忠昌氏



対談：大原久治氏、松本教授



写真部による写真展



悠久山いいところ撮りまっふ：景観編



◆アンケート結果

講演は「非常に楽しかった」63.4%、「まあまあ楽しかった」35.4%、対談は「非常に楽しかった」70.7%、「まあまあ楽しかった」20.7%、「悠久山いいところ撮りまっぷ」は「非常に評価できる」93.3%でした。

また、このフォーラムの情報源は、「図書館、コミセンなど」23.2%、新潟日報の記事20.7%、「ダイレクトメール」17.1%、「市政だより」14.6%でした。

★感想、ご意見

<講演>

- ・牧野様の素晴らしいお人柄が現れていた。長岡を愛されている様子が窺えた。
- ・今まで知らなかった悠久山の話聞き、微力ながら清掃に参加させていただいていることに感謝する。
- ・牧野様のお話を身近に感じ、親近感も持ち、歴代藩主の城下町づくりに感銘を深めた。

<対談>

- ・令終会の思想、長岡人のプライドがとても勉強になった。
- ・未来を夢見ての素晴らしいまちづくりへの情熱が伝わってきて、大変良かった。
- ・大原さんのお話が良かった。また聞きたい。
- ・雪国植物園に山桜、大賛成。
- ・悠久山の在来の植物の話が聞きたい。
- ・学校等で子供たちに伝えて欲しい。

<まっぷ>

- ・学生の労作は素晴らしかった。一層悠久山の良さがわかった。
- ・石碑編が特に良い。
- ・悠久山がこんなきれいな写真のまっぷになって驚いた。
- ・まっぷに土俵を入れて欲しかった。歴史マップとして歴史を学ぶ情報を多く欲しい。
- ・がんばれ。
- ・小動物も撮られたらいいと思った。
- ・悠久山にもっと行きたいと思った。

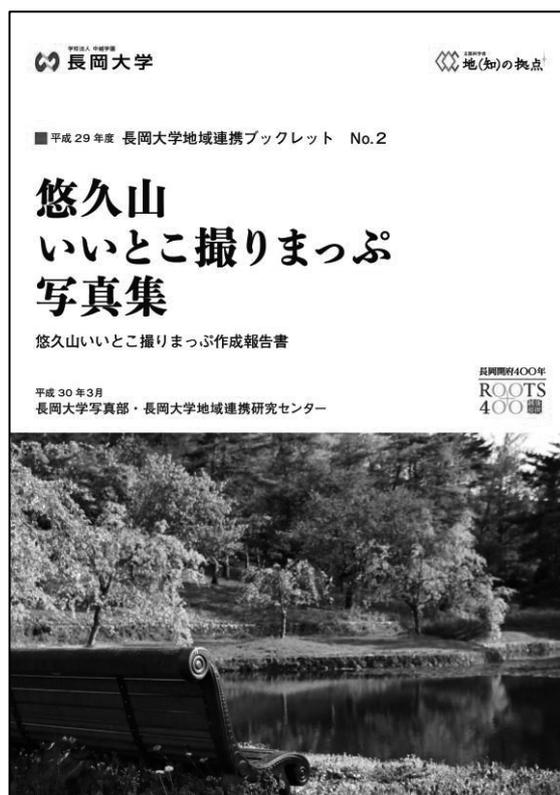
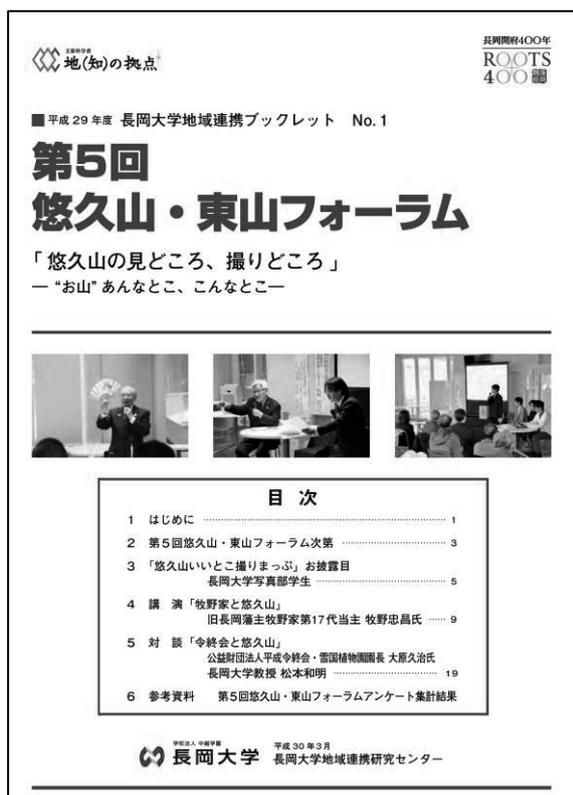
★地域の活性化に役に立つと思われる意見、提案、感想など

- ・近年悠久山が置き去りにされているように思え、市に対し、もっとアピールし守っていくべきと考えていました。悠久山の中に位置する長岡大学だからこそ、長岡の大切な遺産でありシンボルでもある悠久山を守る取組、発信を期待します。
- ・知の探求にセンスを感じます。脳に刺激を与える新鮮さに感動です。
- ・地域の環境の掘り起こしに活躍してください。
- ・長岡開府四百年記念に相応しい素晴らしい企画です。
- ・地域の課題、活性化について常に取組されていることに敬意、感謝しております。
- ・近くに住んでいるのに知らないことが多く楽しかった。
- ・こういうフォーラムがあることを知らなかった。次回も参加したい。
- ・講義室的なところで、テーブルがあると聞きやすくメモも取りやすい。

★今後のフォーラムのテーマについて

- ・ 歴史家、作家による講演会
- ・ 長岡市の産業分野の偉人たちを考えるもの。
- ・ 小沢錦十郎の経歴について知りたい。
- ・ 長岡大学と地域と連携した活動について聞きたい。
- ・ 今回のテーマをもっと掘り下げたフォーラムをお願いします。
- ・ 栖吉地区の歴史。大原氏の話。
- ・ 蒼紫神社の歴史、悠久山公園の活性化、令終会の歴史と今後の長岡。
- ・ 植物の詳しい話。東山地域の良さを語ってもらいたい。花や木や鳥の探鳥会など。
- ・ 長岡の建造物、長生橋、長岡城、食、酒について。
- ・ 学生の活動の紹介。

※第5回悠久山・東山フォーラムは、平成29年度長岡大学地域連携ブックレット No. 1として、まっぷ制作の過程で撮りだめた写真は、平成29年度長岡大学地域連携ブックレット No. 2「悠久山いいところ撮りまっぷ写真集」として刊行いたしました。



長岡大学では、平成25年度より悠久山・東山フォーラムを開催しております。今年度は、長岡大学写真部の学生が地元の方々のご協力で作成した「悠久山いいとこ撮りマップ」のお披露目、牧野家17代当主牧野忠昌氏のご講演、公益社団法人平成令終会雪国植物園園長 大原久治氏と本学教授 松本和明による対談を企画いたしました。

ぜひ、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

なお、このフォーラムは、長岡大学「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」として行うものです。

平成30年 **2/24** 日

13:30～16:00

会場：長岡大学地域交流ホール

定員：60名(先着順)

申込締切 2月22日(木)

参加
無料

当日参加も歓迎です。



「悠久山の見どころ、撮りどころ」
 お山、あんなに、撮りどころ、あんなに、撮りどころ

第5回 悠久山・東山フォーラム

【悠久山いいとこ撮りマップ】お披露目……13:30～14:15

長岡大学写真部、マップ制作委員会
 聞き手 長岡大学教授 米山 宗久

【講演】「牧野家と悠久山」……14:15～15:00

牧野家17代当主 牧野 忠昌氏

【対談】「令終会と悠久山」……15:15～16:00

公益社団法人平成令終会 雪国植物園園長 大原 久治氏
 長岡大学教授 松本 和明

◆当日は、長岡大学写真部による写真展示も行います。

■主催 長岡大学地域連携研究センター

■共催 長岡市、長岡商工会議所、公益社団法人平成令終会

お申込方法・お問合せ先

お電話、FAX、メールでお申込みください。FAXの場合はこのチラシの下欄に記入し、下記FAX番号に送信してください。
 (お問合せ・お申込先)

長岡大学地域連携研究センター 担当 山田、小田原

〒940-0828 長岡市御山町80-8 TEL:0258-39-1600代 e-mail:chiken@nagaokauniv.ac.jp

FAX:0258-39-9566

氏名			
住所・連絡先	〒		
電話番号		F A X	

※ご登録いただいた個人情報は、本学規定に従って厳正に管理します。

VI 第6回悠久山・東山フォーラム

平成30年度は、100年前に「令終会」を結成し、悠久山公園を長岡市に寄贈した人に繋がる「長岡・周辺地域の米百俵精神と教育ーみんなが知らない米百俵ー」をテーマに開催しました。また、このフォーラムは、第34回国民文化祭・にいがた2019、第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会に、応援事業として参加いたしました。

第6回悠久山・東山フォーラム

「長岡・周辺地域の米百俵精神と教育ーみんなが知らない米百俵ー」

日 時	平成31年3月16日（土）13:00～15:30		
会 場	長岡大学地域交流ホール・学生食堂		
開会のごあいさつ	長岡大学学長	村山 光博	
第1部 基調講演	「米百俵と長岡の人材教育」		
	講師：長岡郷土史研究会会員	遠山 典子氏	
第2部 事例講演	「長岡周辺地域の米百俵教育」		
	講師：片貝在住郷土史家	小林 光男氏	
第3部 まとめ、質疑応答	長岡大学教授	高橋 治道	
	長岡大学教授	松本 和明	
閉会のごあいさつ	長岡大学教授	高橋 治道	

第1部では、長岡郷土史研究会会員 遠山典子氏が、幕末から明治における長岡の教育とその精神について、そしてそれが現代まで受け継がれているという内容で講演されました。短命ではありましたが、国漢学校の開校が長岡の近代的な学校教育の嚆矢となり、その精神がさまざまな長岡の学校に受け継がれているということです。「米百俵」の史実と山本有三の戯曲について、戯曲の中の有名な小林虎三郎の言葉は、山本有三の創作ではあるが、当時の長岡の人々の気持ちを象徴的にあらわしている、というお話もありました。「米百俵」について、名前は聞いたことがありながらも、詳しいことは知らなかったという参加者が多かったようです。

第2部では、片貝在住郷土史家 小林光男氏が、江戸後期、すでに片貝村で村民教育を行っていた朝陽館（村塾）について講演されました。小林氏が資料も見ずに語られる様子に、みなさん驚きを隠せませんでした。

第3部では、本学高橋教授、松本教授が、遠山・小林両氏が語り尽くせなかった部分を補足し、また会場からの活発な質問に答えて、盛況のうちに閉会となりました。

参加者は111名となり、昨年度に続き、大勢の方から参加していただきました。

本学写真部による写真展も多くの方にご覧いただき、どういう場所で撮ったのか、どの時間帯に撮ったのかなど、熱心に質問される方がいらっしゃいました。



第1部：遠山典子氏



第2部：小林光男氏



第3部：まとめ・質疑応答



会場、写真展の様子



遠山氏資料：抜粋

米百俵と長岡の人材教育

I はじめに
 II 戯曲「米百俵」と史実
 III 米百俵の背景—長岡藩の教育—
 IV 小林虎三郎と教育立国思想—「興学私議」と国漢学校—
 V 未来へ伝えたい米百俵の精神
 VI おわりに

I はじめに

古人の跡をもとめず、古人の求めたる所をもとめよ。
 (松尾芭蕉「許六離別詞」)

・小林虎三郎(長岡の先人達)は何を考え、実践したか？
 ・米百俵(長岡藩)の人材教育とは何だったのか？
 ・私たちは、これからの教育のために、何をすべきか？
 —米百俵の精神の復活と未来への継承—

II 戯曲「米百俵」と史実①

①戯曲「米百俵」(山本有三著)
 三根山藩からの見舞米百俵
 ↓
 虎三郎が発案して学校建設
 “みんなが食えないというから、おれは学校を立てようと思うのだ。”
 “国がおこるのも、ほろびるのも、町が栄えるのも、衰えるのも、ことごとく人にある。”
 <山本有三「米百俵」(新潮文庫)より引用>

II 戯曲「米百俵」と史実②

②史実「米百俵」
 学校を立てることはすでに決まっていた
 “文教・武備・政治、更ニ如何トもすべからず、漸ク米百俵を建機廻リニ致候位之事ニテ” 明治2年11月(虎三郎の手紙)
 三根山藩からの見舞米百俵→教科書・教材・用具(先卸代金270兩)
 三根山藩土族より当藩土族へ(中略)右百俵米ヲ以テ、文武両場必要ノ書籍器械之費ニ充テ候ヘバ(後略) 明治3年5月
 「長岡市史 資料編3 近世二」

II 戯曲「米百俵」と史実③

明治2年5月 国漢学校仮学校開校(四郎丸昌福寺)
 同3年5月 三根山藩からの見舞米百俵代金
 教科書・書籍・用具代
 同 年6月 国漢学校新校舎完成・開校
 国漢・兵・洋・医・武
 同 年10月 柏崎県分置長岡小学校(長岡藩藩による)
 同5年8月 「学制」の発布により廃校

III 米百俵の背景—長岡藩の教育①—

【長岡藩の学問】 実学の重視—語学と医学

1: 崇徳館〔儒学〕……文化5年(1808)
 〔二学派並立・論議の重視〕
 ・古義学(伊藤東岸-伊藤東陽)
 ・古文辞学(秋山景山) 一朱子学(高野松陰)
 人間性の修養・個性ある多様な人材の育成

2: 就正館〔洋学〕……文政13年(1830) <江戸藩邸>
 ・山田到処、小林儀右衛門
 幕政との関わり(老中海防論)

III 米百俵の背景—長岡藩の教育②—

【長岡藩の学問】 実学の重視—語学と医学

3: 济世館〔医学〕……嘉永6年(1853)
 藩医田中春東の建築
 身分に関わらず誰でも学べた……長岡藩の藩分(人体解剖)
 明治期: 長谷川泰(済生学舎)、小倉井良積ら多くの医学者

4: 造士寮〔寄宿舎〕……慶應3年(1867)
 琴長酒井晦堂(新森塾、戊辰戦争で戦死)
 河井兼之助設置

IV 小林虎三郎と教育立国思想①

1: 虎三郎の生い立ちと師
 両親、高野松陰、山田到処、佐久間象山

2: 求志洞での日々 …… 読書と著作
 「興学私議」(教育論)<「求志洞遺稿」>

3: 国漢学校の設立と米百俵
 ……国漢・兵・洋・医・武場の各局部、六つの教室と演武場
 近代的な学校、「興学私議」の具体化

IV 小林虎三郎と教育立国思想②

—「興学私議」と国漢学校—

4: 虎三郎の教育観
 人主の学 “上に立つ者(人主)は学を修めたる徳のある人物でなければならぬ”
 教場の統合・個性(多様性)重視
 “〔三字〕(大、武、書)を一か所に集めて字科を設け局を分け、それぞれの「材(個性)」に応じて字を修む”
 小学(普通教育)の重視……人こそが主、この世を動かす大きな力
 “すべての人に教育をすれば、教養を促して人材を育てる結果となる”
 教養を身につけた人材を育てる
 “教養とは、「道」(徳性)と「業」(技術・知識)を兼ね備えること”
 学問を奨励し、富強の国家をつくる
 “教育をさかんにし、人材を育成すれば、産業が興り、政治はよくなる”

IV 小林虎三郎と教育立国思想③

5: 東京での著作活動 …… 近代教育への視点
 「小学国史」「翻刻 徳国学校論略」
 「教師必読」「学室要論」「童女笠(せん)」など

6: 虎三郎をつくもの・教育立国思想の広がりに
 長岡社(育英団体)……小林雄七郎(弟)
 田中春回、森源三、藤野善藏など

VI おわりに

・生き残りの(生き抜く)教育 <常在戦場>
 —戦争に負けて教育で勝った(生き残った)—

・イノベーション、実学 <士魂商才>
 —時代(先端技術)の先取り—

・共に生きる、学ぶ、働く <互尊独尊>
 —ランブ会、国際交流(留学生)、官民協働—

関連拙著

・「まちづくり市民研究所 第2期報告書」平成28年 共同研究
 —「米百俵の精神」伝承・実践プログラムづくり—

・「国史 長岡開府四百年」平成30年
 「米百俵と長岡の人材教育」
 「小林虎三郎」
 「長岡藩の人体解剖」

・「米百俵と長岡の藩校—教育立国の承襲—」
 「長岡藩土史」第54号、平成29年

・「長岡藩の藩分(人体解剖)園
 —双子の絵巻物(消書園と下書園)をめぐる—」
 「長岡藩土史」第55号、平成30年

第6回 悠久山・東山フォーラム講演資料

平成31年3月16日

村塾 朝陽館・耕読堂資料

朝陽館の館名の由来

この名前は佐藤家(酒造業)の主人が号を朝陽堂と名乗っており
朝日が昇る様な縁起の良い名前だとして付けたと伝わっています

耕読堂の館名の由来(耕読堂初代横井豊山命名)

耕稼所以得食而為生、読書所以学道而為人
丸山貝陵＝耕読堂記より

小千谷市文化財 朝陽館・耕読堂諸先生の墓と碑

遊山台諸先生の墓碑、石碑・・・片貝の先賢

1	朝陽館初代	サカイウナイ 酒井右内先生	元高田藩浪人在館4年にて片貝を去る 寛政二年(1790)没 ※詳細不明
2	朝陽館二代	アイザワホクメイ 藍沢北溪先生	名は仲明・字は子晋・通称要助・号は梁水又は北溪 刈羽(柏崎)加納出身・9年在館中42歳で死去
3	朝陽館三代	ミナガワキエン 皆川葵園先生	名は本正・字は理卿・通称嘉平・号は葵園 南蒲原(三条)帯織出身・10年在館中41歳で死去
4	朝陽館四代	ツルタウヤ 鶴田東野先生	名は千里・字は子良・号は東野又は貞齋 下野(栃木)足利出身・16年在館中67歳で死去
5	耕読堂初代	ヨコイホウザン 横井豊山先生	名は忠規・字は正則・通称伊織又は所右衛門・号は 豊山豊前(大分)中津出身4年にて片貝を去る その後再び片貝を訪ね滞在中に42歳で急死
6	横井豊山従者	モリシタヒロシ 森下弘之進	横井豊山先生の従者、先生急死の20日後に死去
7	耕読堂三代	マルヤマバイリョウ 丸山貝陵先生	名は靖・字は子権・通称靖左衛門・号は貝陵 片貝出身・23年在館中52歳で死去
8	耕読堂四代	マルヤマバイリン 丸山貝村先生	丸山貝陵の次男・名は恭二郎 在館6年明治政府の学制発布により明治7年片貝校 に引継ぎ初代校長となる78歳で死去

※耕読堂二代浅野柳所先生は1年余りで片貝を去り碑はない

小林氏資料

慶応三年当時の耕読堂

(明治十六年越後国三島郡旧幕府領代官支配地内私塾取調表より)

- 生徒概数 男六十五人、女二十三人
- 授業の順序 素読
四書・五経 文選

講義
蒙求 文章軌範 八大家文 国史略 十八史略 春秋左氏伝

習字
正草假名数字・干支・三字経・千字文・・・
- 学習年限 大概五年より七年に至る
- 束脩謝儀 入門束脩上等は金百疋、中等は五十疋、下等は二十五疋とあり、
然れ共其実行はれず特に其の父母に任すもの如し、
謝儀は五節句及び二季(七月十二月)と唱へ一年七回とし金二十五疋とす
然れ共是亦束脩と同じく実行する能はず、故に上等金二十五疋より
下等銭二百文位に至る、別に雑費と唱へ春秋両度生徒一人につき銭百文より
二百文の間を割当て障子、敷物、器具等の修繕に充つるを例とす

◆アンケート結果

基調講演に対する感想は「非常におもしろかった」50.0%、「まあまあおもしろかった」43.8%、事例講演に対する感想は「非常におもしろかった」38.8%、「まあまあおもしろかった」41.3%でした。

また、このフォーラムの情報源は、「ダイレクトメール」31.3%、「図書館、コミセンなど」22.5%、「新潟日報の記事など」15.0%でした。

★感想、ご意見

- ・地元においても知らない事ばかりです。有名な歴史上の人物についてだけでなく、地元の歴史、人物の話を知ることができておもしろかったです。河合側からの長岡の戦だけではなく、農民・町民側はどのように戦をとらえていたのかも知りたいものだと思います。
- ・大変良い企画であり有意義で勉強になりました。今後も継続され発展されることを祈ります。立派な資料、大変参考になり、ありがとうございました。
- ・片貝の方にとっては素晴らしい研究だと思います。もう少し人物の関連・関係の説明があれば。（質疑の松本先生のようなお話。）
- ・大変ありがとうございました。できたら教室でお願いしたいです。資料、アンケートの記入もあったため。是非検討よろしくお願いします。
- ・事を成し遂げるには、指導者と教えられる民のつながりがある。人民（民）はどうだったかなと思います。
- ・村塾、私塾について知りたかった。
- ・今回初めてフォーラムに参加させて頂き、ありがとうございました。また、機会がありましたら出席させて頂きたいと思います。
- ・参加された方が思っていたより多かったので驚きました。今後も期待します。
- ・松本教授、いろいろご配慮いただき、ありがとうございました。
- ・2日間に亘り、良い勉強させてもらいました。
- ・交流を図れる場があるとありがたい。
- ・色々考えさせられたフォーラムですが、他力本願とならず、自分がやれる事をやりたい。
- ・HPの活用を上手にしてはと思う。
- ・資料なしでの講演感心いたしました。
- ・テーブルがあると資料やメモ取りに良いと思います。
- ・マイク（スピーカー）の音が低い。よく聞き取れない部分があった。
- ・長岡の話が身近（地域）な所できけてとても喜んでいきます。
- ・コミセンでの松本先生のお話も聞けなくなることに残念におもっています。長い間ありがとうございました。
- ・このフォーラムを続けて下さい。
- ・長岡大学が本日の内容を実践してほしい。
- ・原稿なしでの話はすごかった。
- ・長岡に住みながら浅学非才の為、知らない事ばかり。長岡の情報は何でも聞きたいで

す。

- ・現代に生きている部分を解りやすく話して欲しい。
- ・深い研究に敬意をはらいます。
- ・今、私達個人が何をすべきか？
- ・これらについてディスカッションすることは有効かと思います。歴史を学ぶことは大切である。それを実際の行動に生かす事を忘れてはならないと思う。
- ・講師の松本教授が良かった。

★今後のフォーラムのテーマについて

- ・中世江戸時代の越後における交通の発達と産物・情報・人の交流の事情。(特に長岡との関係で)
- ・サフラン酒の創業者、吉澤仁太郎氏のお話。(見方によっては大変な成功者であり、ものの見方・考え方の参考になるのではないのでしょうか。)
- ・長岡の中心市街地活性化について。(特に駅前・大手通・空き店舗)
- ・活性化とは何か。→理想的な街とは何か。
- ・現在の問題点とは何か。→どう改善したら良いのか。
- ・優先順位をどうするか。人材、道具・設備・施設・資金・納期/時間も含めて。長岡市民として考えていく。→議論する場。
- ・誰が旗振りをする？市長？市民？産業界？学校？教育をどう発展させるか。(特に大学・高校・専門学校)
- ・長岡の産業
- ・これからの、長岡の歴史を生かした人間の育成の仕方。
- ・経済、時事の話を知りたい。
- ・長岡の人は、人生の生き方が上手でない。意固地？であるのか、「どうしてか、力があっても上に立てない。それを克服するには、どうするか」のテーマで研究をしてみたい。
- ・長岡周辺フォーラムは話題も多く聴講したいと思う。
- ・撰田屋について(醸造の歴史について、文化財など)
- ・「華を去り実に就け」についてお話をうかがいたいと思います。
- ・偉人、有名人の話だけでなく、庶民の生活、教育などの実態を研究した成果を知りたい。
- ・三島億二郎のことを聴いてみたい。
- ・田中角栄元総理大臣、新潟県を発展させてもらった時代は、大変経済がうるおっていたと思います。景気が良くなり、日本が発展するにはどうしたら良いか、これからの若者の時代を今後話して欲しいです。松本先生よろしくお願い致します。

第6回 悠久山・東山フォーラム

長岡大学では、平成25年度より悠久山・東山フォーラムを開催しております。
今年度は、100年前に「令終会」を結成し、悠久山公園を長岡市に寄贈した人に繋がる「長岡・周辺地域の米百俵精神と教育」をテーマに、フォーラムを開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



文化ふっつ新開!

また、この事業は、第34回国民文化祭・にいがた2019、第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会に、応援事業として参加しております。



「長岡・周辺地域の米百俵精神と教育 —みんなが知らない米百俵—」

日時 平成31年**3月16日** 土
13:00~15:30

会場 長岡大学 地域交流ホール

定員 100名(先着順)

**参加費
無料**

朝陽館は、1779年(安永8年)に片貝村(現小千谷市片貝)の有志5人が中心となって創立された村塾である。1842(天保13年)に耕読堂と塾名を改め、学制施行によって片貝小学校ができるまで続いた。もみじ園を造った高橋九郎もここで漢学を学んだ。



- 主催 長岡大学地域連携研究センター
- 共催 長岡商工会議所、公益社団法人平成令終会
- 後援 長岡市

お申込方法・お問合せ先

お電話、FAX、メールでお申込みください。

長岡大学地域連携研究センター 〒940-0828 長岡市御山町80-8
TEL:0258-39-1600代 e-mail:chiken@nagaokauniv.ac.jp

FAXの場合はこのチラシに記入し、右記FAX番号に送信してください。

氏名			
住所・連絡先	〒		
電話番号		F A X	

※ご登録いただいた個人情報は、本学規定に従って厳正に管理します。

この事業は、長岡大学「地(知)の拠点整備事業」(COC事業平成25年度~平成29年度)の継続事業として行うものです。



プログラム

開会挨拶

長岡大学学長 村山 光博

第1部 基調講演

「米百俵と長岡の人材教育」

講師：長岡郷土史研究会員 遠山 典子氏

第2部 事例講演

「長岡周辺地域の米百俵教育

—江戸後期、すでに村民教育を行っていた朝陽館(村塾)など—

講師：片貝在住郷土史家 小林 光男氏

第3部 まとめ、質疑応答

長岡大学教授 高橋 治道

長岡大学教授 松本 和明

閉会挨拶

長岡大学教授 高橋 治道

長岡大学写真部による写真展示も行っております。

FAX:0258-39-9566

おわりに ～ 地域活性化の推進を目指しあらたな展開へ ～

平成 25(2013)年度の文部科学省「地(知)の拠点整備事業」(大学 COC 事業)に選定された「長岡地域<創造人材>養成プログラム」の事業計画の中では、地域を志向した社会貢献の取り組みの一つに、「地域活性化の推進(コミュニティ・中山間地活性化)」という項目を掲げています。さらにその中で、長岡大学が立地する地域でもある悠久山地区および東山地区の活性化策を推進することを表明しており、悠久山・東山地域を中心とする市民の方々と大学との交流から「地(知)の拠点」としての本学の在り方を考える機会にしたいとの考えが、この「悠久山・東山フォーラム」の原点となっています。

表1は、平成25年から平成31年まで計6回開催されたフォーラムのテーマと参加者数を整理したものです。「みんなで悠久山・東山地区の魅力を語ろう」をテーマに掲げた第1回フォーラムの企画段階では、大学としてもはじめての試みで、実際にどれくらいの参加者があるのかの不安もありましたが、開催当日は約70名の参加者を得て活発な意見交換が行われました。その後も毎回好評を博し、現在では本学の教職員、学生と地域の方々が一緒に地域を考える貴重な場となっています。当初の「地域活性化の推進」の枠組みでは、中山間地としての山古志地区や栃尾地区等を含めた長岡市内の活性化に資するネットワークづくりを提案しており、この「悠久山・東山フォーラム」はその基礎を築いたという意味で一定の成果を得ることができたと言えます。これもひとえに地域の皆様のご支援ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

今年度をもって「悠久山・東山フォーラム」という名称での開催は終了とさせていただきますが、本学は今後も「地域活性化の推進」を目指し、悠久山・東山地域以外の他地域にも対象範囲を拡げた取り組みを展開して参りたいと存じます。

地域の皆様には、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

平成31年3月
長岡大学長 村山光博

表1 悠久山・東山フォーラムのテーマおよび参加者数

回	日付	テーマ	参加者数
1	平成26年3月15日	「みんなで悠久山・東山地区の魅力を語ろう」	約70名
2	平成27年3月7日	「悠久山・東山マップの完成報告」	約60名
3	平成28年3月5日	「ひとりひとりができること」	約50名
4	平成29年2月25日	「お雛さまとお茶会」	約60名
		「プラレールで、ママ友、パパ友を作ろう！」	約100名
5	平成30年2月24日	「悠久山の見どころ、撮りどころ」	約120名
6	平成31年3月16日	「長岡・周辺地域の米百俵精神と教育」	約110名

ブックレット既刊号のご案内

〈長岡大学ホームページ <http://www.nagaokauniv.ac.jp> でもご覧いただけます〉

1. 第5回 悠久山・東山フォーラム「悠久山の見どころ、撮りどころ」(平成 29 年度)
2. 悠久山いいとこ撮りまっぷ写真集 (平成 29 年度)
3. もみじ園フォーラム3年のあゆみ -越路地域みなさんとともに- (平成 30 年度)

長岡大学地域連携ブックレット ④

【発行日】平成 31 年 3 月 31 日

【発行】長岡大学地域連携研究センター

〒 940-0828 新潟県長岡市御山町 80-8

TEL. 0258(39)1600(代) FAX. 0258(39)9566



撮影：長岡大学写真部